

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	びーだま クラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 30日		～ 令和7年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各種療法士をはじめ様々な資格をもつスタッフがいることで多角的な療育を提供していることです。	情報の共有をスタッフ間で行っています。	研修などを通じて、スタッフの資質の向上を図りたいです。
2	毎日毎月の活動内容が充実するよう、季節に合わせた行事も大事にしています。	月案を作成し、一人一人のレベルに合わせた活動を行っています。	ミーティングで活動の反省点を話し合っていますが、全員でもっと掘り下げて考えていきたいです。
3	お子さん一人ひとりに合った、楽しめる活動をしています。	個に合わせた活動を集中して取り組める環境作りをしています。	お子さんの様子をアセスメントケース会議を行いながら、次へとスモールステップで成長することを意識取り組んでいきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族に対する支援（ペアレントトレーニング）や父母会ができていませんでした。	新型コロナウイルスに限らずとも、インフルエンザなど感染症の拡大と懸念の高まりがあり、予定を組んではいても開催できないことがありました。	計画を中止にするのではなく、延期という判断も取りうるかと考えています。
2	きょうだい児への支援	兄弟の相談を受けることはあるが、助言のみで終わっていました。面談など考えていきたいです。	ご家族の困り間を精査し、何が必要なか把握して支援をすることが必要だと感じています。
3	インクルージョンを考えた活動	地域の公共施設やグループ内事業所と連携し、活動を考えたいです。	ご家族のニーズを把握し、活動を考えたいと思います。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 びーだまクラブ

公表日 令和 7 年 3 月 28 日

利用児童数

16

回収数

12

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	3	1	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	2	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	0		
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	1	3		児童館や公園に行き地域の子供と遊ぶことがあります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3	0	6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	4	2		感染症への懸念から控えていたが、情勢を見つつ今年度は実施予定	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	11	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	12	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	12	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	12	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	8	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	9	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	11	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	11	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	11	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	10	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	12	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
びーだまクラブ		令和 7 年 3 月 28 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		学習スペースと余暇活動のスペースを分けることで切り替えや集中の促しが有効にできていると思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		他の事業所（グループ内）と協力できていると感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>	屋内、屋外どちらも段差・階段等があり、必要な場合、指導員が声掛けや補助を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清掃場所を職員間で決め、休みの日等は補ってもらえている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		着替え等、プライバシーに配慮できる空間が設けられている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎日共有できていると思う。 （管理者主体で話し合いができています）	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的に面談を実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		朝礼、終礼時にできている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		要望に応じて管理者が場を設けている。 会社として社内研修や外部研修を推奨している。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		HPで公表している。事務所内にもファイルに綴ってある。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		送迎時の保護者とのコミュニケーション、面談でのアセスメントにしっかり時間をかけ作成されている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		モニタリング、個別支援会議で意見のすり合わせを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援会議により、指導員、PT・OT・STで共有や意見。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		日々の様子や引継ぎ、療育活動の結果等をメモする様式を使用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		支援計画に組み込まれ、職員がいつでも確認できるよう保管できている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		各専門員と打合せができ、担当者がチームに共有、意見交換ができています。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		基本となる活動を「運動（粗大・微細）」、「コグトレ」、「ワーキングメモリー」、「SST」とし、内容を5領域に沿って取り組み、固定化せず様々な体験ができるよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		週3回ずつ集団活動、個別活動と、曜日ごとに分けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		1日お預かりする際には計画表を取り入れ、その他平日は朝礼で共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		専門員と担当者が振り返り、終礼時にその他の指導員との振り返りができている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			検証の為の記録になるよう、支援計画のポイントに絞るよう改善が必要
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		管理者が主体となって行っていると思う。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		平日・休日共に意識しながら計画できている。都度専門職と意見交換し、1人1人に合わせた支援内容になっている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自由遊びのおもちゃやおやつ、課題プリント等をいくつか選択肢を用意している中から選んでもらっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者が主体となって参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて対応できるようマニュアルが保管されている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		遅れる場合には電話連絡を行っている。情報共有は送迎時にコミュニケーションをとれている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		対象者なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			実際に連携する事案が発生していない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の児童センターを活用させていただき、その中での交流が行っている。回数を増やしていきたいと感じている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳（コドモン）やメール、送迎時等に伝え合うことができているように思う。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			コロナ感染症の背景から保護者が集まる機会を中止していたが、今後を出来るよう計画をしていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、面談等でも実施している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		管理者が主体となり、他職員にも情報収集や意向の確認の促しがされて実行している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		要望があれば面談を実施、送迎時やメール、電話等を使っての助言や支援を行っている。		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○			感染症への懸念から控えているが、今後実施に向けて検討したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		記録に残し、迅速かつ適切な対応を心掛けている。		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		発信のペースにはばらつきがみられるが(SNS)、毎日連絡帳で保護者に情報提供している。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じてイラストや文字での配慮を行っている。		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			感染症等の流行により実施できず、状況に応じて検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各委員会が設置されており、定期的に社内での会議、共有、BCP訓練の実施、保護者への連絡体制を整えている。		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年二回の避難訓練、机上・シミュレーション訓練、実動訓練（垂直避難・水平避難）		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	対象者なし		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		BCP研修をして安全面について話し合いを実施している。施設の備品や建物のチェックを行っている。		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保護者連絡ツールで公開。		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		細かなことでも共有し、提出しやすい雰囲気である。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修だけでなく、日頃から職員間で対応の検討や振り返りができていると感じる。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		必要がある児童に対しては事前に同意書をいただき、記載している。			